

自治体 渡島地方本部ニュース

【発行】

自治体 渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原 4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358



道南医療ナースアクション

道南医療 渡部議長

道南医療ナースアクションでは、冒頭渡部議長のあいさつを受け、その後笹田浩道の現状と課題』についての講演を受けた。道が検討している7病院の在り方は、採算性をメインに進められているが、地域医療として道立病院

9月8日、八雲町・はびあ八雲で、渡島・松山衛生医療評議会・道南医療合同幹事会及び道南医療ナースアクションを開いた。合同幹事会では、各病院の経営状況についての報告を行った。老朽化した病院を抱える単組には、経営自体が黒字であっても建替えについては当面の資金力が必要であるとのア



笹田道議 講演

ドバイスがあった。民間労組からは、病床利用率は95%以上をキープしている。経営悪化が全て自分たちの給与に跳ね返ってくることを、常に意識をし、経営安定のための努力を行っているとの報告があった。

の役割について議論が必要であるとの指摘がなされていた。その後グループ討論として、職種毎に分かれ、それぞれの課題について話し合いを行った。

病院の不採算部門については、公立が担う必要があるため、民間と自治体病院が、互いに連携をしていく必要がある等の意見が出されていた。

また、どの病院も医師や医療スタッフ不足の現状が話されていた。グループ討論終了後は、地域ビラ活動として、『実現しよう看護職員200万人』のパンフレットを参加者全員で八雲町内で配布した。

渡島・松山衛生医療評議会、道南医療合同幹事会を開催
連帯して地域医療を充実させよう！

第34年次自治研全道集会在網走

9月7・8日の2日間、網走市で第34年次自治研全道集会在が開かれた。はじめに、杉谷自治研推進委員長からあいさつがあり、水谷網走市長から歓迎のあいさつがあった。

初日のパネルディスカッションでは「オホーツクから新しい地域づくりを発信する」と題して、パネラーからは網走はメガソーラーの地としては最適な地域である。観光ではもつと東南アジアへ発信していかなくてはいけない。農業においては付加価値をつけて、産業の連携による農村の活性化や、経営の多角化がキーワード。第6次産業では女性が生き生きとした農業ができる環境作りが必要といった意見交換がされた。

2日目は4つの分科会「北海道の食と農、そして環境・エネルギーを考える」、「地域住民とともに歩む災害に強いまちづくり」、「子育てから医療・福祉・介護など、安心のまちづくり」、「自治体改革運動と財政」に分かれて、自治研レポート26本の発表があった。その後、質疑討論を行い、互いに理解を深めることができた1日となった。実行委員の皆さんご苦勞様でした。